



## 「脳の発達と夏休み」

台風一過。影響も少なく、朝夕が少し涼しく感じられます。

40日あまりの夏休みも、10日あまり過ぎました。

どのような毎日をご過ごしているのでしょうか？

連日の猛暑、熱中症も心配され、空調の効いた部屋で、過ごすことが多いのかもしれませんが。宿題を室内で一生懸命取り組んでいる人もいます。でも、知っていますか？生活が大きく脳の発達（活性化）と関係していること・・・。

身体と心が大きく成長すると言われる中学生の時期ですが、当然脳も発達します。幼少時期と比べるとその発達は緩やかだそうですが、自分で自分の脳の発達を意識して生活できるといいですよ。発達を助ける要素はたとえば次のようなことです。

- ① 外界からの刺激を受ける→5感（視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚）からの刺激を受ける。
- ② 手を使う→様々なものを触る・つかむ・道具（はさみ・包丁・針など、鉛筆で文字を書く）を使うなど
- ③ 新しい刺激を受ける→経験のないことにチャレンジ、見たことのないものを見る。
- ④ 普段と違う環境にいる→特に自然の中で過ごす。（風や太陽の光、海の波、川のせせらぎ、木々の香りなどもとても良い）
- ⑤ 多くの人と話をする→相手の状況・言っていることを理解して言葉を返す。
- ⑥ 考えて動く→手順を考えたり工夫する料理・洗濯・掃除など



早朝のラジオ体操やウォーキング、森林の中での昆虫採集、海水浴、お手伝い（料理・洗濯・掃除など）、旅行やおじいちゃん・おばあちゃんへの帰省、美術館や史跡巡りや普段聞かないような音楽のコンサート、夏休みにしかできないような生活は、みなさんの脳の発達にはとても良いのです。暑さ寒さで汗をかいたり鳥肌をたてたりすることも適度には脳のためにも必要なことなのだそうです。（文責：上野真紀子）



平成29年度から2年間、鹿児島地区の研究指定を受け、研究・実践を進めてきた「キャリア教育」の研究公開を開催しました。

公開授業では3年生の職場体験学習発表会を行いました。シンポジウム方式の発表会で、3年生一人一人が体験で学んだことを分かりやすく発表しました。その後、1・2年生や参観に来られた保護者、職場体験学習を引き受けてくださった事業所の担当者の方々との質疑応答・意見交換を行いました。1・2年生の積極的な質問や保護者、担当者の方々のお話を聞くことで、働くことについて考えを深めることができました。また、30人余りの先生方が参観されていましたが、生徒が自分の考えを自分の言葉でしっかりと表現できていた点など、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。

これからも、研究主題である「何事にも目標を持って取り組むことのできる生徒の育成」をめざし、キャリア教育の研究・実践を進めて参ります。

### 【研究公開参加者のアンケートから】

- すごく素直でまっすぐな心が子どもたち一人一人の言葉から感じることができました。
- 生徒たちが自分の言葉で発表や質問をしていた点が良かった。聞く力も育っていると感じました。
- マイクの不調時に自分の肉声で話そうとしたり、さりげなくマイクを回したりするところが人間関係育成を見ました。
- 保護者・事業主等を巻き込んで質問されたところは是非取り入れたいと思いました。
- 土橋地区という地域の良さを活かした取組を行っていらっしゃる、縦のつながりを大切にされていることが他者から学ぶ姿につながるのかなと感じました。

# 1学期の学校評価

(職員・生徒に実施)

(青文字 3.5以上 赤文字 2.5以下)

【評価】 4…十分に達成できている      3…おおむね達成できている  
2…あまり達成できていない      1…ほとんど達成できていない

		職員	生徒
勉学 (知)	明確な目標を持って主体的に学習に取り組んでいる。	2.8	3.2
	自宅学習の時間・質の向上が図られている。	2.2	2.5
	模範ノート・模範自宅学習帳の提示、話し合い活動・発表の仕方の提示、他校との交流学習などを参考にして学び方を工夫している。	2.4	3.0
	将来の目標を設定し、自分の将来設計を立て、その実現に向けて努力している。	3.0	3.3
	様々な教育活動等を通して自己理解や他者理解を深め、成長につながる目標を設定している。	3.0	3.4
	各種検定・コンクールに積極的に参加し、社会的自信を付けている。	2.8	2.5
	キャリア教育の視点から教育活動を見直すなどして生き方指導の充実が図られている。	3.6	3.5
	3年間を通じた計画的な進路指導が実施できている。	3.3	3.4
	ひおき学の充実や地域貢献活動の推進が図られている。	3.3	3.6
	研究授業を通じた実践的研究や校外研修への積極的な参加ができている。	3.6	3.7
礼節 (徳)	相手を見て、心の伝わる挨拶をしている。	2.9	3.4
	互いの存在を肯定的に受け止めようとし、誰に対しても公正、公平に接している。	2.8	3.5
	集団生活において、生徒相互や教師と信頼し合う関係を築いている。	3.0	3.5
	学校や家庭でよく本を読んでいる。	2.8	3.1
	係活動・当番活動や生徒会活動を責任をもって行っている。	3.1	3.6
	時間いっぱい精一杯清掃作業に取り組み、日常的に整理・整頓ができている。	3.0	3.4
	家庭のきまりや3つの時刻を守り、規則正しい生活を送っている。	2.7	2.8
	朝・夕の合唱に意欲的に取り組み、大きく美しい声で歌っている。	3.3	3.4
	効果的な資料の活用など工夫して道徳の授業を行うとともに、教科化へ向けて準備を進めている。	2.8	3.5
	構成的エンカウンターやアサーショントレーニングを取り入れるなどして人間関係能力の育成に努めている。	3.1	3.5
剛健 (体)	個別の目標を持って積極的に体力づくりや部活動等に取り組んでいる。	2.9	3.2
	徒歩による登校ができている。	2.5	2.8
	昼休み時間に積極的に運動を行っている。	3.0	2.6
	自分の健康状態を把握し、積極的に健康増進や疾病治療に努めている。	2.8	3.3
	食や睡眠への意識が高まり、規則正しい生活を送っている。	2.8	3.3
	災害や事故等への危機意識を持ち、安全に注意して行動している。	3.1	3.6
	進んでボランティア活動や地域行事に参加している。	3.0	3.3
	生徒会が主体となるように、それぞれの行事を工夫している。	3.5	3.6
	災害や事故を想定した実際の避難訓練が実施できている。	3.5	3.6
	地域行事へ積極的に関わったり、地域や卒業性等の人材を活用したりするなど地域との連携を図っている。	3.4	3.6

キャリア教育の研究指定を受けて2年目に入ったこともあり、キャリア教育や進路指導に関する項目の評価が高くなっています。また、昨年度から引き続いて、生徒会活動や安全指導の項目が高いです。さらに、3.0を下回る項目が昨年度よりも少ない状況です。職員、生徒が各教育活動にしっかりと取り組んだ成果と捉えています。

## 勉学 (知)

教師・生徒ともに自宅学習に関わる項目が低くなっています。また、以前に調査した「3つの時刻」の実施状況では、守っていると回答した生徒が3割未満でした。このことから、規則正しい生活を送り、家庭学習時間をしっかりと確保することが必要と言えそうです。

## 礼節 (徳)

職員と生徒の評価の差が大きい項目が見られます。重点項目である「心の伝わる挨拶」は、生徒はできていると捉えているようですが、職員はまだだと考えているようです。生徒会保健生活部を中心に生徒自ら改善を図るようにしてほしいと考えます。

## 剛健 (体)

徒歩による登校の項目がなかなか改善されていません。体力テスト等の結果から、体力の伸び悩む生徒、一日の運動時間が0分の生徒も増えています。体力づくりの視点からも、登校は歩かせてください。起床時刻を見直し、余裕を持って登校できるようにする必要があります。保護者の皆様の協力をお願いいたします。